

主催 日本歴史学協会 日本学術会議史学委員会

同 教育現場・社会における歴史実践と歴史認識に関する分科会

後援 高大連携歴史教育研究会

歴史教育シンポジウム：歴史総合をめぐる(8)

歴史総合・日本史探究・世界史探究の史資料を使う

2024年10月27日(日曜日) 午後1時～5時

ハイブリッド開催 対面会場：一橋大学(東キャンパス) 東2号館 2201教室

このシンポジウムでは、昨年まで「歴史総合」について7回検討してきた。すでに歴史総合の授業が始まって3年目に入り、日本史探究と世界史探究の授業が始まって2年目になっている。

歴史総合と日本史探究や世界史探究の教科書を見ると、従来の教科書に比較して、文字資料を始め、絵画資料・写真・地図・グラフや表などが、格段に増加している。しかし、その史資料の持っている歴史的意味や授業での使い方に関しては、教科書では必ずしも十分に説明されていない。

今回のシンポジウムでは、このような状況を受けて、教科書に掲載されている史資料を始めとして、教科書に掲載されていない史資料にまで視野を広げて、歴史教育における史資料について考えてみたい。充実した授業をどう作るのが歴史総合と日本史探究・世界史探究をより充実させる鍵であろうと考える。

プログラム

開会挨拶

大橋幸泰 早稲田大学教授・日本学術会議第一部会員

趣旨説明

鈴木茂 名古屋外国語大学教授・日本学術会議連携会員

司会

高澤紀恵 国際基督教大学名誉教授

久留島典子 総合研究大学院大学理事・副学長 日本学術会議連携会員

報告

藤波潔

沖縄国際大学教授

高校歴史系科目における史資料活用と教員養成

戸川点

拓殖大学教授

日本史探究で歴史史資料をどう使うか

五十嵐諒子

国際基督教大学高等学校教諭

歴史総合における史資料を用いた授業実践

コメント

小田中直樹 東北大学教授・日本学術会議第一部会員

閉会挨拶

若尾政希 第32期日本歴史学協会委員長 一橋大学特任教授・名誉教授

人間文化研究機構理事 日本学術会議連携会員

※参加ご希望の方は下記URL・右QRコードよりお申し込み下さい(〆切10月26日)。

※報告レジュメ等は、当日、チャット等で共有させていただきます。

<https://keio-univ.zoom.us/meeting/register/tZcvdemvpzoiHdJ0-fe5ttDt9KVI04ZkrcLJ>

※対面会場アクセス: 下記URL・右URLコードで表示される地図31番の建物です。

<https://www.hit-u.ac.jp/guide/campus/campus/index.html>

※参加費無料・どなたでも参加できます。

